

東ソーからナフサ分解炉増設プロジェクトを受注

平成 29 年 11 月 28 日
東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリング株式会社(TOYO、取締役社長 中尾 清)は、本年10月、東ソー株式会社が四日市事業所で計画している基礎化学品原料のエチレンを生産するナフサ分解炉の増設プロジェクトを受注しました。TOYOは建設計画初期段階から参画し、この度の受注に至りました。

本ナフサ分解炉は、TOYOが半世紀以上に渡り提携関係にある米国ルーマス社の先進技術であり、エチレン収率を向上させたルーマス法最新型分解炉が日本で初めて導入されることとなります。ルーマス社の技術は全世界のエチレンプラントの約4割に採用されています。TOYOはルーマス法エチレンプラントを世界各地で45基建設しており、今後もルーマス社と協力し、エチレン案件獲得に向けて積極的に取り組んでいきます。

本プロジェクトでは、国内子会社であるテックプロジェクトサービス株式会社(TPS)が工事を中心に担当します。TOYOとTPSは協力して国内顧客案件獲得に積極的に取り組み、ビジネス拡大を図ってまいります。

受注概要

- 客 先: 東ソー株式会社
- 受注者: 東洋エンジニアリング株式会社
- 建設地: 東ソー四日市事業所内(三重県四日市市)
- 対象設備: ナフサ分解炉 1 炉増設
- 役務内容: 設計、調達、工事 一括請負
- 完工予定: 2019 年秋

<お問い合わせ先>

広報・IR 室 [担当: 飯田、深沢] TEL: 047-454-1113